

名古屋市立夜間中学設置基本計画（案） に対する市民意見の内容及び市の考え方

「名古屋市立夜間中学設置基本計画（案）」に対して貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。いただいたご意見と、それに対する市の考え方を公表します。なお、ご意見の内容について、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、原文を一部要約、また分割等して掲載しておりますので、ご了承ください。

令和5年12月
名古屋市

実施結果

1 実施期間

令和5年11月1日（水）から令和5年11月30日（木）

2 意見提出

区分	郵送	ファックス	電子メール	持参	総数
提出者数	3名	1名	9名	0名	13名
内容件数	6件	1件	25件	0件	32件

3 意見内訳

項目	意見数
計画全体	2件
I 名古屋市における市立夜間中学の設置について	0件
II 公立夜間中学とは	0件
III 市立夜間中学に対するニーズについて （市立夜間中学ニーズ調査アンケート結果）	0件
IV 名古屋市における市立夜間中学の設置の枠組	9件
V 名古屋市における市立夜間中学の学びの方向性	0件
VI めざす姿の実現に向けた学校づくり	21件

市民意見の内容及び市の考え方

○計画全体 （２件）

[市民意見]

（全国の公立夜間中学校の状況に）「日本国籍を有する生徒が３３．３％」とあるように、すでに日本国内１７都道府県に４４の夜間中学が設置されており、名古屋市に今回設置されるのは当然のことであり極めて重要です。

[市民意見]

今の日本は少子高齢化等からくる人手不足が深刻化する中で、外国人労働力の必要性はますます高くなるばかりです。外国人労働者の獲得、移民支援の観点からも、夜間中学を活用して義務教育を受ける環境を整備することは、とても大事なことと思います。

その意味からも、「名古屋市立夜間中学設置基本計画（案）」の通り一刻も早く夜間中学設立を実現致したい。

[市の考え方]

様々な事情により義務教育を修了できなかった方や、本国で義務教育を修了していない外国籍の方、不登校などの事情により義務教育が十分に受けられなかった方等に、義務教育を受ける機会を実質的に保障するため、策定する設置基本計画に基づき、令和７年４月の開校に向け準備を進めてまいります。

○Ⅳ 名古屋市における市立夜間中学の設置の枠組 （９件）

[市民意見]

名古屋は大都市ですから、交通事情が比較的良いとしても、事情のある生徒さんが集まってくるので、ニーズに応じて分校やサテライトのようなかたちで市内各所に集まり学ぶ場を将来設置することを含んでほしい。

[市民意見]

１校だけでなく、特に外国人労働者の多い名古屋市南部への設置もご検討ください。

[市民意見]

２０２０年度の国勢調査結果から鑑みて、「笹島」だけで名古屋市の義務教育未修了者や増加する外国ルーツの方々の学びに十分応えられる規模が確保されるとは思えません。故国での学びの進捗状況が様々である以上、年度途中で編入学を希望する学習者への対応も考えると外国人が集住する地域周辺の学区を中心に、あと数校は必要になるかもしれません。

市の多文化共生にかかわる部署とも連携しながら、今後の住民情報に配慮した設置計画を立ててください。

[市民意見]

最初の学校に続き、公立夜間中学が自転車で通える場所にあるよう、学校の数も増やしてください。理想的には、中学校区に一つあると素晴らしいです。不登校生も増加し、外国にルーツのある子が増えます。質的にも量的にも拡充が求められます。困難な事業ですが、公民連携の真価が問われます。

[市の考え方]

令和7年4月に開校する夜間中学の生徒の在籍数や運営状況等を踏まえ、夜間中学のあり方については、適宜、対応を検討してまいります。

[市民意見]

懸念事項として笹島小中学校の施設の余力がどれだけあるかがあります。夜間中学は様々な学習ニーズを持つ方を対象として教育を行いますので、通常の中学のような一斉授業形式は難しいと思います。一つの学年を科目ごとにいくつかの小集団に分けて授業を行うことが求められますが、その教室のスペースは確保されるのでしょうか。

[市の考え方]

授業は、学年ごとのクラス編成で、仲間と一緒に学ぶことを第一としますが、生徒の学習状況等を踏まえ、複数の教員等による個別指導や少人数による指導、取り出し指導のほか、必要に応じて今までの学年の学習内容の学び直しに対応するなど検討してまいります。

教科担当だけでなく、複数の教員等による指導を検討いたしますが、教室については必要に応じパーテーション等を活用する等、教育環境に留意してまいります。

[市民意見]

大都市で様々な人が集まっている名古屋で1学級では不十分だと思います。ニーズがあれば、定数を設けずに希望者を受け入れられるようにしてほしい。

[市の考え方]

1学年1学級は想定する学校規模であり、定数を設けることはしませんので、1学年1学級の人数を超えたことを理由に入学をお断りすることはございません。

[市民意見]

1学年1学級で考えておられますが、学級定数は何人を想定していますか。狭い教室に支援員などを含めた多数のスタッフがいて、密度や他者の声が辛くなる生徒も想定されますので。

〔市の考え方〕

1 学級は、中学校設置基準等に基づき、1 年 35 人、2 年 40 人、3 年 40 人となります。授業は、教科担当だけでなく、複数の教員等による指導を検討いたしますが、教室については必要に応じパーテーション等も活用する等、教育環境に留意してまいります。

〔市民意見〕

入学時期は 4 月を基本とすることについて、夜間中学は義務教育ですので、原則として「随時入学」として下さい。地域にもよりますが、かなりの夜間中学では、9 月以降も引き続き受け入れています。

〔市民意見〕

入学時期については柔軟な対応を求めます。随時入学としてください。

〔市の考え方〕

認められる特別の教育課程の編成により、授業時間の縮減等がありますが、中学校の教育課程を 3 年間で修了するために、年度を通じたカリキュラムを編成しますので、4 月の入学を基本といたします。

ただし、入学希望者の個々の状況に応じて、年度途中での入学も可能としますので、5 月以降に入学ができないということではございません。

○Ⅵ めざす姿の実現に向けた学校づくり （21 件）

〔市民意見〕

「始業前の時間等を利用して日本語指導を行うような支援体制づくりを検討する」とあります。それも一理ありますが、基本的には 1 週間の時間割（40 分×5 日＝20 時間）の正規の教育課程の中に日本語指導を位置づけることが重要だと思います。

「あいうえお」がわからない生徒にいきなり、社会、理科、国語等を教えることは、大きな苦痛を与え教育効果がないばかりか、非効率的だからです。日本語がわからない生徒には 1 年間程、日本語学習をメインに、日本語力をあまり必要としない実技教科を教えることが多くの夜間中学の流れです。そうすることにより、2 年目の教科学習への移行に効果があると認められています。

文部科学省も 2014 年度より、日本語教育に関する「特別の教育課程」の方針を出し、教科指導から取り出しての大幅な日本語指導を認めています。名古屋市に開設される夜間中学でも夜間中学全国平均（66.7%）並の「日本国籍を有しない者」の在籍が予想されます。

[市民意見]

学習内容も個々人の進捗状況に合わせて、学習者主体で進められるようにしてほしいです。特に小学校での学びが抜けている方々には、外国人同様、識字教育から丁寧に進めていただけるようお願いします。

「学び直し」の学校ですが、小学校段階で不登校や引きこもりになった人々にとっては、すべて新しく「学ぶ」ことばかりです。耳で聞いて知っている単語でも、文字にするとフリガナがついていても「読めない」「書けない」のです。漢字はなおさらです。外国人の日本語教育が夜間中学の「日本語学校」かと揶揄する人たちがいますが、識字に難のある日本人にとっても同じ配慮が必要です。

「日本語」が話せても読めない書けない人々を受け入れるところである以上、識字教育に力点が置かれるのは当然のことです。「日本語学校」はビジネスのための日本語を教えるところであって、学校で学ぶ内容に関する言葉を扱うところではありません。行政にかかわる人々の中にも誤解をしている人たちがいます。「日本語学校」で学んできても、学校で学ぶ学習言語は理解できないのです。だからこそ、レベルに応じたコース分けの中で各教科の学習内容を学習者の状況に合わせてながら進めていくことが重要です。そのためにも、ぜひ、入り込み授業などで外部支援者や母語支援員の協力をお願いしてください。外部支援者の中に、地元の支援団体とかかわりのある方に入ってもらおうと生徒支援がスムーズです。

[市民意見]

日本語指導の支援と学校の勉強で使う言葉とが途切れないように助けてあげてほしいです。日本語の勉強は、ひらがなとカタカナ、あいさつ、数え方、生活に必要なことだけだと思います。でも、外国人の子が一番困ってしまうのは、授業で使う教科書の中に出てくる言葉なので、まず、学校の先生の授業の仕方を変えてください。

分かりやすくするのはとても大切です。その中でも、もっと難しいことにチャレンジしたい人もいると思うので、夜間中学では、学年制じゃなくて、一人一人の勉強の内容で進めていくという方法がとれるとよいと思います。

[市民意見]

夜間中学は外国人が多く、日本語指導が必要な外国人生徒も多いと思います。名古屋市には教育委員会管轄の初期日本語集中教室が2か所（東海教室・宮前教室）あります。約3か月で学校生活に適應できる初期日本語を指導しています。ここにはカリキュラムや教材がそろっています。夜間中学とも連携して日本語が指導できたらと思います。よろしくお願いします。

〔市民意見〕

現在、小中学校における日本語指導が必要な児童生徒への支援として、市教育委員会では初期日本語集中教室を港区・北区の2か所に開設していますが、新しくできる夜間中学校も、このノウハウを取り入れた日本語サポートを行うこともひとつの手かと思います。

第3の初期日本語集中教室として、交通の便が良いささしま小中学校内に昼夜二部制の教室を開設し、昼は日本語指導が必要な小中学生、夜は開講される夜間中学に対してサポートを行うというのも課題解決になるのではと思います。

〔市民意見〕

言語保障という観点からも、新しい夜間中学における日本語指導に期待をしています。日本語指導が必要な児童生徒数日本一の愛知の中心都市・名古屋から、全国に誇れる理想的なモデルが生まれることを願ってやみません。

〔市民意見〕

私は教員ではありませんが、(日本語教育)支援員としての経験から実感したことがあります。教育は適切な時期に適切な密度で行なわれるべきであるということです。例えば、来日して間もない児童には短期間でも密度の高い初期日本語教育を、中学生には日本語と併行しての教科学習言語の教育です。生徒ひとり一人と向き合える公立夜間中学ならできるのではないのでしょうか？誰も取り残さない教育を、ぜひ名古屋市立夜間中学で実践してください！

〔市の考え方〕

公立夜間中学は、義務教育の機会を保障する学校ですので、教育課程は中学校のカリキュラムとして、日本語の習得自体の指導については、始業前の時間等を活用して、各授業の理解に必要となる日本語の習得を補助してまいります。

開校初年度においては、学年ごとのクラス編成で、仲間と一緒に学ぶことを第一としますが、生徒の授業に必要となる日本語の習得状況を踏まえ、複数の教員等による個別指導や少人数による指導、取り出し指導のほか、必要に応じて今までの学年の学習内容の学び直しに対応するなど検討してまいります。あわせて、これら生徒支援については、関係機関及び支援団体等と連携した体制づくりを進めてまいります。

〔市民意見〕

夜間中学を開校されると聞き、その中に外国籍の方も学ぶことが出来ると新聞に書いてありました。その方々が入学し不安なく2025年度からの授業に入っていける様に1年もしくは半年前から「ゆったりとした授業」を行ってみてはいかがでしょうか。その為には外国（スペイン、ポルトガル）語と日本語、加えて英語の話せる人が必要かと思います。

「ゆったりとした授業」があれば、2025年度から教壇に立たれる教員の方々がよりスムーズに授業を進められるのではないのでしょうか。

〔市の考え方〕

夜間中学に入学を希望する方の入学までの日本語の習得については、地域日本語教室等と連携しながら、習得状況に応じた学習ができるよう支援してまいります。

〔市民意見〕

生徒が安定・安心して学校生活を送るためには、「就学援助」と「全員への給食」の実施が必須です。また、かなりの夜間中学で「給食の無償化」や「自治体の補助」も進んでいます。夜間中学生の大多数は「非正規」の仕事をしており、抜本的な「経済支援」が必要です。

〔市民意見〕

学校給食は食育の観点からも重要ですが、給食費が払えない経済的に苦しい方もいらっしゃいます。学校給食費はぜひ、無料にしてください。

大人の方であっても、就学支援助成金は必要です。高齢者の場合、少ない年金の中でやりくりしながら通う方もいらっしゃいます。タブレット学習なども想定されているようですが、自己負担にならないよう、学校納入金がかからないように補助してください。

〔市の考え方〕

生徒が継続して学校生活を送ることができるよう、就学援助に類する経済的支援や、希望者への給食の提供について費用負担のありかたも含め検討いたします。

また、経済的事情で学校生活を断念することがないよう、学校行事や教材を工夫するなど配慮してまいります。

[市民意見]

現在、多くの夜間中学を設置している自治体では個別の就学援助制度を設計しています（大阪市、堺市、神戸市など）。就学援助に類する支援は必要だと思いますので、他の自治体同様に、独自の制度設計について、充実したものになるよう検討していただきたいと思います。

制度を設計するにあたり、支給金額については、経済的な事情が夜間中学への入学を妨げることのないように充実させるべきと考えます。また、遠方から通うことも想定し、通学費など、夜間中学ならではの費目も検討する必要があると思います。

夜間中学は中学校（夜間学級）のため、スポーツ振興センター共済給付制度についても、加入するのであれば、少しでも経済的負担を軽減する必要があると思います。現状のスポーツ振興センター掛金免除については、就学援助制度の援用であるため、夜間中学において同等の経済状況の家庭が負担することのないようにするため、夜間中学の就学援助制度についても「市教委が要保護者に準じると認める」という仕組み（および制度における文言）が必要かと思います。

[市の考え方]

経済的支援が必要となる生徒には、就学援助に類する経済的支援ができる制度を検討していく予定でございます。なお、就学援助に類する経済的支援の認定基準や支給対象となる費目等は、他都市の制度等も参考に検討をしております。

[市民意見]

学習支援体制において、発達障害対応支援員の配置が位置付けられています。不登校生徒の中には発達支援の必要な生徒がいますが、より障害の重い生徒のために「通級制」も検討してください。

[市の考え方]

学習支援体制については、個々の生徒の事情を丁寧に把握したうえで、授業の状況や本人の希望等を踏まえつつ、合理的な配慮を検討してまいります。

[市民意見]

2025年度に夜間中学を開設する際には、ぜひとも全国夜間中学校研究会に加盟して下さい。ほとんどの夜間中学が加盟し、夜間中学の唯一の全国組織です。文部科学省や多くの自治体も、毎年開催される研究大会を後援しており、貴重な研修機会となっています。

[市民意見]

教職員の研修の充実を求めます。案でも指摘されていますが、夜間中学が成功するかどうかは、教職員が夜間中学での教育活動の特質を理解し実践できるかにかかっています。先行事例校などの見学などの予算を十分につけてください。

[市の考え方]

全国夜間中学校研究会への加盟を検討し、研究大会に参加する際は先進的な自治体の事例を研究するとともに、他自治体の夜間中学への視察も実施し、研修機会や研修内容を充実することができるよう検討してまいります。

[市民意見]

教職員配置に関わって、外国語図書も含めた図書室の位置づけを明記してください。

[市の考え方]

図書室は、笹島中学校の図書室を利用することを基本として、必要となる図書を整備してまいります。学校図書を担当する教職員の配置については、任用形態を含め検討してまいります。

[市民意見]

夜間中学を開設する過程で、さらに自主夜間中学等の意見を聞き、最大限取り入れて下さい。また、夜間中学開設後も自主夜間中学等との良好な関係を推進して下さい。2022年度に開設された札幌市立星友館中学校では、開設後の運営協議会に札幌遠友塾自主夜間中学及び北海道に夜間中学を作る会の各代表や、夜間学級生徒代表数名を入れ、運営に大きな効果があると聞きます。

[市民意見]

最初の中学校を円滑に始動させるため、素案にあるとおり民間の自主夜間中学などのボランティア団体の経験を吸収し、地域全体で学習者をサポートする中心的役割を果たして下さるようお願いします。

[市民意見]

実績のある自主夜間中学との連携を図ってください。

[市の考え方]

自主夜間中学をはじめ、各関係機関、団体、関係者と連携しながら、よりよい市立夜間中学となるよう取り組んでまいります。

[市民意見]

設置基本計画（案）で「関係機関・支援団体との連携」とありますが、現場の人手不足を理由に、実質は関連団体に丸投げ、とならないことを願います。またボランティアの活用においても「やりがい搾取」にならないよう、活躍に応じた謝礼や交通費の補助等をご検討いただきたいと思います。

[市の考え方]

夜間中学における教育活動は、本市の責任のもと、本市教職員が主体的に関わり実施をしております。ボランティア等の活用については、謝礼や交通費等をふくめ、実施の形態を検討しております。

[市民意見]

夜間中学という「夜の学校」に対する世間の偏見を払しょくするための工夫や配慮をお願いしたいと思います。世間では、「夜間中学校」が教育基本法の1条校に該当していないのでは、と考えている人たちがいます。

ぜひ、誰でも安心して学べる場所であることや夜間中学で学ぶひとたちが生き生きと学んでいることなどを区役所の待合場所や病院などで流している市のテレビ放送やSNSなどを利用して拡散させ、イメージアップにつなげるようお願いします。

イメージアップがうまくいけば、生徒の掘り起こしも可能です。学びたいと思っても、偏見からくる誤解で家族の反対にあったり、学習者自身に心理的な抵抗感が生じたりしてしまいます。

[市の考え方]

公立の中学校である夜間中学の正しい情報を、市民の皆さまに広く理解していただくため、市公式ウェブサイトのほか、市公共施設での周知をはじめ、幅広い媒体を活用して広報をしております。

[市民意見]

「生徒会」活動を保障して、学校評議員として「学校評議会」に生徒代表にも入っていただけるようにしてください。

「全国夜間中学研究会」や「夜間中学生徒交流会」などに、教職員だけでなく生徒さんたちにも入っていただき、全国の皆さんとの交流を通じて、様々な情報共有ができるよう生徒自治を育ててください。

[市の考え方]

学校のめざす姿として、「多様性を尊重しながら、一人一人を大切にし、誰もが安心して学ぶことができる生徒が主役の学校」を掲げておりますので、学校運営は、常に生徒の声を尊重できるよう進めてまいります。

生徒会や学校評議員のあり方については、他都市の状況なども調査しながら、検討してまいりたいと考えております。